こどもがしるべき

テサロニケへの

テサロニケへのは、パウロがテサロニケにった２のです。

（イエスがふたたびられること）にえなさいというパウロの１の（テサロニケへの）をして、のないをしたたちのをすためにかれたです。

パウロは、テサロニケへのをして、

１つ、のためににあうにとめのことばをえました。（Ⅱテサロニケ1:5-10）

２つ、キリストのがづいてきたので、「じていたをる」というの「」をすると、の（をだとっている）がれるなどのできごとがまずこるはずだとえました。（Ⅱテサロニケ2:3-4）

３つ、ったえについてかないために、のみことばので、あるをしなさいとえました。（Ⅱテサロニケ2:13-17、3:6-15）

イエス・キリストをじてのをもらったたちにとって、イエスのは、しむことでも、れることでもありません。びとのらせです。８は、より、このをにんで、とともにおられるをしてめをけて、をけましょう。のことばではなく、のみことばにかうとき、がくださるをるようになるでしょう。